

1、2年生職場体験 (渉外課より)

Ko2 students have been taking part in the work experience programme. Here are some comments from students:

I am working with local volunteers at Oxfam charity shop in Gerrards Cross. I often work behind the cash register serving customers, which was difficult at first but I'm getting more used to it each week. I really like working at this store because the people here are very kind. (Student 1)

I am working at the Tiny Turtles Nursery in Slough. Playing with the children can be a lot of fun but it is difficult to know what to do when they cry. Working here is not always easy, but it is important and meaningful, and it is helping me to improve myself. (Student 2)

I am working at Cliveden (National Trust). I am working outside with the rangers, maintaining the grounds and the gardens. I had a very exciting time delivering firewood around the estate in a golf cart. I am very proud of the work I have done here, and I have made some great memories. (Student 3)



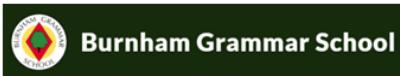
2、1年生 Burnham Grammar School 訪問 (渉外課より)

今年度も、Burnham Grammar School に本学園の1年生が招かれ、現地の生徒とともに授業を受ける貴重な機会をいただきました。

今年度は、生徒たちが8つのグループに分かれ、現地校の生徒の案内のもと、それぞれの授業に参加しました。数学や理科、言語（スペイン語・フランス語）、芸術、ビジネスなど教科の幅も広く、日本とは異なる授業スタイルに刺激を受けながら、真剣な表情で授業に取り組んでいました。

滞在中はすべて英語での活動となるため、最初は緊張する様子も見られましたが、次第に積極的に英語でコミュニケーションを取る姿が多く見られるようになりました。また、休み時間やグループ活動の中では、好きなマンガやゲームといった国を超えた共通の話題で自然と会話が弾み、交流を深める様子も印象的でした。

今回の現地訪問を通して、生徒たちは英語力だけでなく、異文化の中でも積極的に関わろうとする姿勢や、共通の興味を通じて人とつながる喜びを実感できることと思います。この経験を、今後の学びや学校生活にぜひ生かしてほしいと願っています。Burnham Grammar School の概要は、以下の URL をご覧ください。



<https://www.burnhamgrammar.org.uk/>



3、受験報告会（進路指導部より）

1月19日、今年度の受験報告会を開催し、大学受験を終えた3年生が、進路選択の過程や受験準備の実際について後輩へ向けて発表しました。会では、志望校をどのように選んだのか、受験に向けてどのような準備を行ったのか、そして1・2年生に伝えたいメッセージが語られ、参加した生徒たちは真剣に耳を傾けていました。

3年生からは、早めの準備の重要性や資格取得・評定維持の必要性、そしてオープンキャンパスへの参加が強調されました。また、志望理由書の書き方や面接対策など、実体験に基づく具体的なアドバイスも多く、1・2年生にとって大きな学びとなりました。さらに、受験を振り返っての「やっておいて良かったこと」「後悔していること」も率直に共有され、後輩たちは自分の進路を考えるうえでのヒントを得た様子でした。特に、自分の強みをどう生かすかや資格取得といった話題は印象深く、多くの生徒がメモを取りながら聞いていました。

実施後の生徒アンケートでも「参考になった」「具体的で分かりやすかった」との声が多く寄せられ、充実した会となりました。今回の報告会が、1・2年生にとって進路を主体的に考えるきっかけとなることを期待しています。

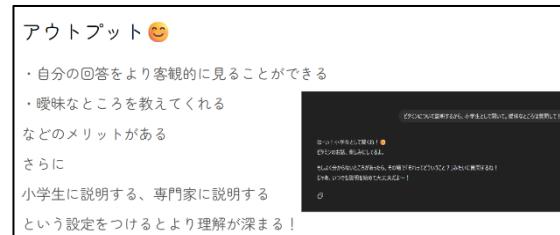


4、情報学習会（情報推進室より）

1月12日（月）全学年で「高校生とAIの向き合い方」について、学習しました。1年生3名の実践報告と、1年生3名によるパネルディスカッションを通して、グループで話し合いを行いました。正解を出すわけではなく、今後使いを考えられる姿勢を身に付けるきっかけになったと思います。

生徒の振り返り（一部抜粋）

- アウトプット（AIに教える・説明する）という発想はなかった。説明することで定着を深めることができ、とても大切だと思う。
- 英検のライティング対策として効果的にAIと向き合っていきたい。
- 自分の興味を誰かに打ち明けられる人がいない場合でも、AIなら話し相手になってくれるから良いと思った。
- 自分が正確な答えを知っていないと、AIのミスに気付くことができないから、全部使うのではなく、少し頼る程度がいい。
- AIの情報が全て正確ではない事がもう一度確認できた。自分の基準を持っておくことは大切だと思った。



5、保健講話（保健部より）

1月8日（木）に、「自分らしさを研究しよう」というテーマで、児童精神科医の坂野真理先生を学園にお招きし、保健講話を行いました。ワークショップ形式で、自分や周りの人たちの人づきあいやコミュニケーションのパターンを知り、それぞれの強みや弱みを考えながら、その違いを理解する機会を持ちました。また、発達特性という点から、生まれつきを強みに変えたり、自分らしさを生かす工夫についても考えるきっかけとなりました。

講話を受けた生徒たちからは、「みんながそれぞれに生まれつきの個性があるのだと思った」「感じ方の違いに、正解や間違いはないのだなと思った」「考えすぎると疲れちゃうよね、と言われて共感した」「それぞれに違いがあるので、そんなに言われたことや表情をみて落ち込んだり気にしなくてもいいのかなと思った」などの感想が聞かれました。振り返りでは、いくつもの質問も出され、引き続き今後の学習材料にしていきたいと思います。



6、スピーチコンテスト（渉外課より）

The annual Speech Contest was held this month. Presenters from Eton College, St Bernard's Catholic Grammar School and Harrow School for Boys gave presentations in Japanese while students from Teikyo presented in English. The topics for this year were "Your favourite season" for the beginner group and the advanced group were tasked with creating and then pitching a piece of technology to solve an issue in society.

As always, I have huge respect for the presenters who volunteer to take part and stand in front of a large audience *and* present in a second language. Everyone who took part performed incredibly well. The standard continues to improve each year both in terms of content and language ability. The MCs, from both Teikyo and St Bernards, led the event well and kept everything moving along smoothly.

It was also nice to see that students from all schools were mixing so well and there were some very good questions from audience.

In the end, the audience selected the following presentations as their favourites:

- Beginner: Eton College student- 香港の春節
- Advanced: Harrow School for Boys student- 世界を静かにできるミュートボタン

Well done to the winners. I hope the event inspired the Teikyo students to have a try next year.

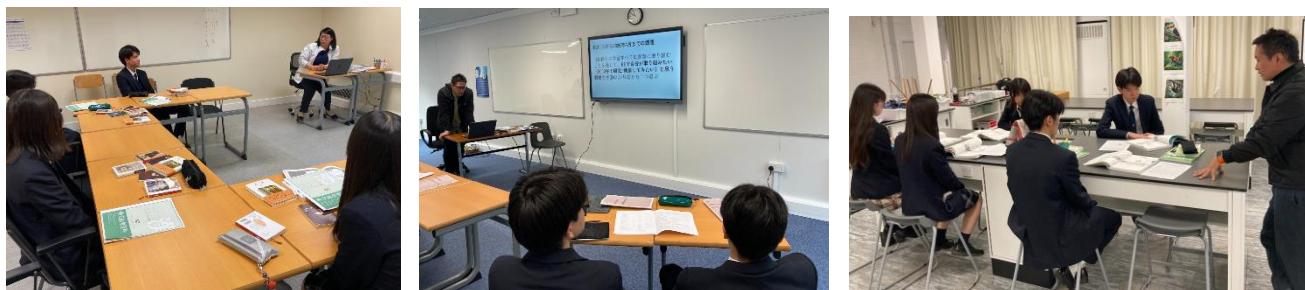


7、IBDP (DPコーディネーターより)

・IBDP 3期生スタート

2026年1月より、IBディプロマプログラム（IBDP）第3期生が新たにスタートいたしました。今年度は5名の生徒が本プログラムに挑戦し、年々DPで学ぶ生徒の輪が広がっています。

IBDPでは、従来の学習とは異なり、探究を重視した学びに取り組みます。生徒たちは、問い合わせを立て、自ら考え、他者と対話、協働をしながら学びを深めるという、一味違った学習方法に日々向き合っています。慣れない学習スタイルや課題の多さに戸惑いを感じる場面もあるかもしれません、生徒たちは新しい学びの一歩を着実に踏み出しております。



・都留文科大学学生 学園訪問

2026年1月20日、21日の2日間、日本の山梨県にある都留文科大学にてIB教育を学んでいる学生2名が、本学園を訪問しました。

訪問期間中、学生は学園のIBDPの授業を見学し、実際の授業の様子を間近で体験しました。授業内では、生徒たちとともに協働学習に参加し、対話を通じて学びを深める場面も見られました。また、訪問した学生の中には、自身も高校時代にディプロマプログラムを修了した経験を持つ者がおり、その実体験に基づいた学習方法や進路に関する助言を、生徒たちに共有していただきました。IBでの学びを実際に経験した立場からの具体的なアドバイスは、生徒たちにとって大きな励みとなり、今後の学習や進路を考えるうえで貴重な機会となりました。

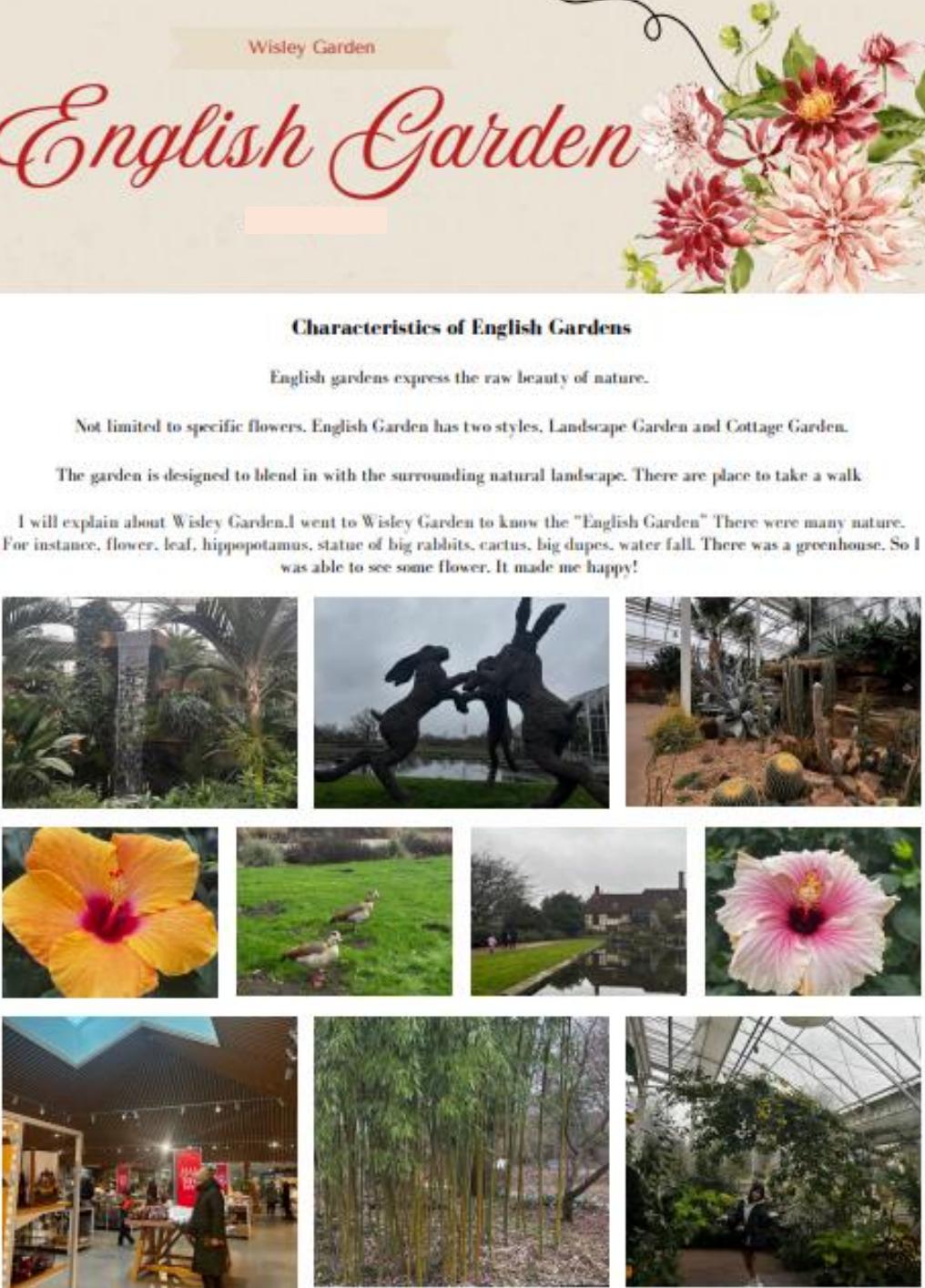


8、T-CAS 報告 (T-CAS 担当より)

GSコースの生徒たちは、毎週水曜日5・6限を使い、CAS活動に取り組んでいます。イングリッシュガーデンを学園敷地内に造園するという活動を行っている1年生が、活動報告のポスターを作成しましたので、ご覧ください。

Wisley Garden

English Garden



Characteristics of English Gardens

English gardens express the raw beauty of nature.

Not limited to specific flowers. English Garden has two styles, Landscape Garden and Cottage Garden.

The garden is designed to blend in with the surrounding natural landscape. There are place to take a walk.

I will explain about Wisley Garden. I went to Wisley Garden to know the "English Garden". There were many nature. For instance, flower, leaf, hippopotamus, statue of big rabbits, cactus, big dupes, water fall. There was a greenhouse. So I was able to see some flower. It made me happy!

What I learned from this experience

It was well maintained, but it was natural. Even the buildings were clean and cohesive with the plants. Gardening improves your observation skills. Expand your emotional vocabulary I want to go back again in the next season to enjoy the changes that occur with the seasons.

Landscape Garden→風景式庭園：19世紀の貴族の庭園。湖や山等の自然景観を活用する文様園のもの。

Cottage Garden→コテージガーデン：19世紀以前に一般市民に広まったスタイル。小さなコテージのまわりに小さな庭や各種園芸植物が植えられる。

日本ではイングリッシュガーデンといえばコテージガーデンのことを指していることが多い。

1 / 2 5

garden

9、各コースより

サッカーコース

新年が明け、2026年もサッカーコースらしく元気よく日々活動をしています。United select、Beaconsfield town U-18、Red Koreなどそれぞれの環境で取り組んでいます。評価を上げてきている生徒もありこれからが楽しみです。先日行ったカップ戦では、KO 1生が同点ゴールとアシストをおさめPK戦の末、最後はKO 2の一人が落ち着いてネットを揺らし勝利を飾りました。一方で、残念ながら現在、2名の選手が怪我をしており、回復に向けて休養ができる範囲でジムトレーニングなどを行っています。限られた高校生活ですので、有意義な期間にすべく引き続き怪我なくかつ負荷を高めながら精進していきたいと思います。

イタリア研修旅行では2月3日（火）に行われるBologna vs AC Milanの試合を観戦する予定です。イギリスサッカーとの違いなどに触れ、帰ってきてからのサッカー活動に活かしてくれることを期待しています。



アートコース

年が明けて2週間後の水曜日、アートコース生が年度最後のアウティングに出かけました。年間計画をもとに日程を決め、当日の時間調整や交通ルート、最寄り駅から訪問先までの行き方を調べるなど、生徒自身が企画を行う取り組みです。今回は訪問先を一つに絞ることができず、アートコースとしては初めて、ギャラリーと美術館を巡る「掛け持ちアウティング」を実施しました。移動時間の都合で鑑賞時間はやや短くなりましたが、一度のアウティングでギャラリーと美術館、二つの場で芸術鑑賞ができたことに、生徒たちも満足した様子でした。

授業においては、受験を終えた生徒と高2・高1の生徒が、それぞれ自分の挑戦したい課題に向き合いながら制作を進めています。新年を迎え、制作活動も本格的に再開しています。



10、マクミランへの寄付



MACMILLAN
CANCER SUPPORT

毎年イギリスでは9月に、慈善団体「Macmillan Cancer Support」が主催するチャリティーイベント「Coffee Morning」が全土で開催されます。Macmillan Cancer Support は、がんを抱える患者さんやその家族の方、またがん治療に関わる医療スタッフやボランティアへの支援など幅広い活動を行っており、学園近くの総合病院内にも相談センターが併設されています。この Coffee Morning は、趣旨に賛同する人たちがそれぞれに持ち寄ったケーキなどを販売し、その売り上げを Macmillan Cancer Support に寄付をするというイベントです。学園は今年で7回目の参加となり、ボランティアで生徒4名とスタッフ4名がつくったケーキやクッキーを販売し、みんなの気持ちがこもった売上金 £ 235 が Macmillan Cancer Support に届けられました。



11、お知らせ【無料オンラインキャリアワークショップのご案内】（進路指導部より）

この2月に InvestIN がオンラインで開催する無料のキャリアワークショップについてお知らせします。海外の教育に関心のあるご家庭にとって、将来の進路や職業選択について体験的に学ぶよい機会になると思います。興味のある方は、下記のリンクより直接お申し込みください。

►無料イベント一覧 <https://investin.org/pages/free-events>

また、同団体では週末や夏期の職業体験プログラムも提供されています。

►プログラム一覧 <https://investin.org/collections/our-programmes>

帝京ロンドン学園の Instagram はコチラ！▶▶▶

